

4・5組



わかる。できる。たのしい。

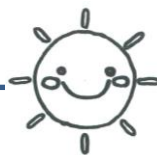
自分 だいすき! 友だち だいすき! 学校 だいすき!

【4・5組として 重点をおきたい教育方針】

- ・自己解決力をつける。(自分でできた喜びを自信につなげる)
- ・自己調整力をつける。(自分の気持ちに気付く)
- ・コミュニケーション力をつける。(話を聞く力、自分の思いを伝える力)
- ・相手の気持ちを考えて行動する。
- ・わかる、できる体験を積み重ねて、学習の楽しさや友達とかかわる楽しさを味わう。



はなまるのたね



知

興味関心をもってまわりの人と仲良く過ごすことができる子を育てます。

徳

自分と周りの人を大切にし、思いやりの心をもった子を育てます。

体

自分の安全や健康に気を付けて、元気よく過ごす子を育てます。

公

身の回りに目を向け、助け合って行動する子を育てます。

開

違いを認め、周りの人を大事にし、共に生きていく子を育てます。

【1年生として重点をおきたい教育方針】

☆何事にもすすんで取り組み、最後までやりぬこうとする子

☆人の話をよく聞き、自分の思いや考えを表現しようとする子

☆いろいろな人と自分からかかわり、自分も友達も大切にしようとする子

〇〇ができたね！
わかったよ！やったね！
もっとできそうだね！

やってみたいな！
まねしたいな！

**ぼく・わたしの体験・経験は、
自分の種を成長させる「栄養」だよ！！**

自分のいいところ・友達の
いいところみつけたね！



横浜市立
洋光台第一小学校
第2学年

みんなのヒーロー 2年生!

HERO



知

好奇心をもち、仲間とともに活動することを楽しめる子を育てます。

徳

自分や友だちのよいところに気づき、思いやりの心をもった子を育てます。

体

自分の健康に関心をもち、心身ともに元気に生きようとする子を育てます。

公

身近な地域に目を向け、周りの人に関心をもち、行動する子を育てます。

開

人はそれぞれ違うことに気づき、共に過ごしていこうとする子を育てます。

【2年として重点をおきたい教育方針】

<H:help(ヘルプ)>

困ったときは、助けを求める。
友達を助ける。

<E: empathy(エンパシー)>

相手の気持ちを考える。

<R: respect(リスペクト)>

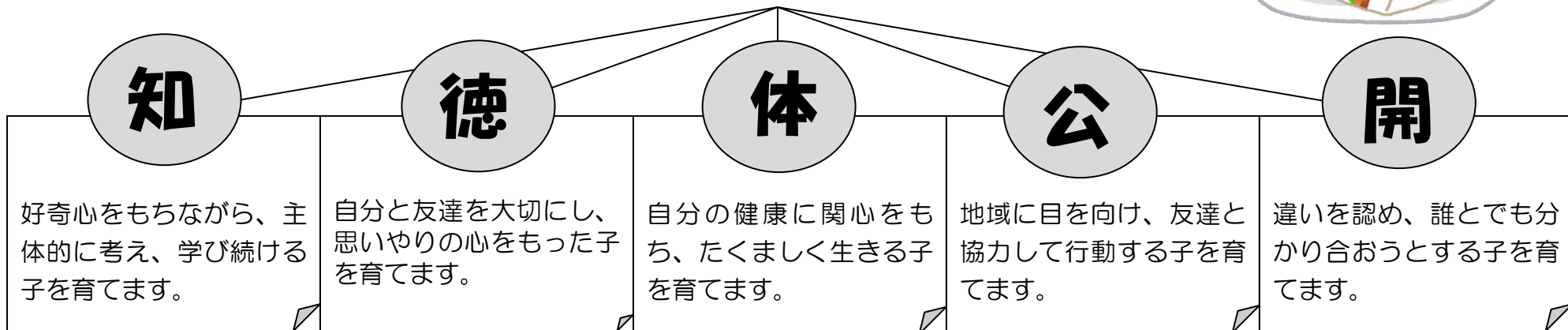
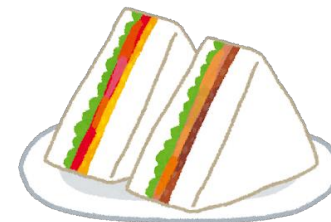
どんな人のことも大切にする。

<O: open mind(オープンマインド)>

広い心で受け止める。

自分も友達も大切にし、どんなことにも挑戦できる「ヒーロー」に成長していこうとの願いをもって進んでいきます。

サンドイッチ



【3年生として重点をおきたい教育方針】

- 個性 「自分ならできる」「好きなこと・得意なことを増やそう」「みんなちがうから おもしろい」
 - ・新しい学習や活動に前向きな気持ちでチャレンジしたり、苦手なことに諦めず取り組んだりして、自分の好きなことや得意なことを増やします。一人ひとりが自分らしさを発揮して、活躍できる集団を目指します。そのために、活動の見通しやゴールを分かりやすく提示したり、自信がもてるような励ましや支援を行ったりしていきます。
- 協力・思いやり 「みんなで力を合わせたらできた」「助けてくれる仲間がいる」「仲間のおかげ」
 - ・相手の気持ちを考えて友達に寄り添ったり、困ったときに自分から助けを求めたりできるような環境作りや指導をします。
 - ・学び合い、関わり合いの場面を設定し、協力することのよさを体感できるようにします。
- 積み上げ 「できた」「わかった」「がんばった」
 - ・学習や生活の中で「自分で考える」「行動を振り返る」場面を設定したり、よい行動や取り組み方を共有して手本にしたりすることで、適切な行動や取り組み方を選びながら自分を高めていけるようにします。
 - ・学習や行事の中で協力してつくり上げていく経験を積み重ね、認め合い、高め合える学年集団を目指します。



つきたい5つの力

- あきらめずにごんばる
- 何でもチャレンジ
- 相手のことを考える・やさしくする
- 協力する
- （自分達で）きまりを守る

知

様々な事象に関心を持ち、自分事としてとらえて課題をもち、解決しようと粘り強く取り組む子を育てます。

徳

自分と周りの人の気持ちの違いを理解し、認められる心をもった子を育てます。

体

自分の健康を考えて行動し、心身ともにたくましく生きる子を育てます。

公

学校全体や地域に目を向け、自分の役割を理解して、周りの人と協力して行動する子を育てます。

開

違いを理解し、誰とも分かり合おうとしながら共に生きていく子を育てます。

【4年生として重点をおきたい教育方針】

① 自ら新しい学習や活動に挑戦し、粘り強く取り組む姿を育てます。

新しい学習や活動に前向きな気持ちでチャレンジし、苦手なことにも諦めず取り組めるようになります。そのために、今まで学んだことや経験したことをもとにして見通しをもたせたり、取り組み方の例を提示したりしていきます。また、いろいろな機会を設け、経験の幅を広げると同時に、ふりかえりをするを通して、自分の成長を感じられるようにしていきます。

② 一人ひとりのよさや違いを認め合い、進んで協力する姿を育てます。

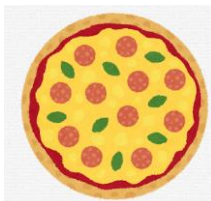
周りの人の話を聞いて自分の考えと比較することによって、新たな気づきや考えが生まれ、視野が広がります。人の話を聞くことを大切にし、よさを目を向けたり、違いを認めたりすることの大切さを価値づけていきます。

③ 高学年に向けて、あたり前のことにもきちんと取り組み、みんなのために行動する姿を育てます。

当たり前知っているルールや一人ひとりがやらなければいけないことをおろそかにせず、大切にしている気持ちをもって取り組むよう、日々の活動を大事にしていきます。また、洋一音楽会や宿泊体験学習などでは、自分を律して行動することも経験させ、個としての自分、集団の中の自分など、様々な立場で求められる役割をきちんと理解して、責任をもって全うすることができるように指導します。

横浜市立
洋光台第一小学校
第5学年

ピ



ザ

- ・挑戦しよう！
- ・元気に楽しく過ごそう！
- ・誰とでも仲よくしよう！
- ・思いやりをもとう！
- ・めりはりをつけよう！



みんなでピースを
集めよう！

知

好奇心をもちながら、主体的に考え、学び続ける子を育てます。

徳

自分と周りの人を大切に、思いやりの心をもった子を育てます。

体

自分の健康に関心を持ち、心身ともにたくましく生きる子を育てます。

公

学校全体や地域に目を向け、周りの人と協力して行動する子を育てます。

開

違いを認め、誰とでも分かり合おうとし、共に生きていく子を育てます。

【5年として重点をおきたい教育方針】

①自分で目標をたて、主体的に解決できるようにしていきます。

日常の授業や行事のめあてを考え、意識して取り組むことができるように指導していきます。身に付ける力（なりたい自分の姿）を明確にし、試行錯誤を続けながら活動する中で、自らの課題に気づき、その解決に向かって取り組んでいけるようにします。また、振り返りの時間を大切にすることで今までよりも成長した姿を実感し、成果と課題をもとに、さらに目標に向かって主体的に行動できるようにします。

②一人ひとりが自分の役割を果たし、個性（互いのよさや違い）を認め合えるようにしていきます。

それぞれのよさを発揮していくこと、相手の思いを受け止めること、互いの違いを受け入れて助け合っていくことで、集団として成長できることを感じながら生活していけるように指導・支援します。話し合いの時間を取り入れて「みんなで考えて」取り組むことで、受け入れたり、受け入れられたりする経験を積み重ねて、自分のよさや友達のよさに気付くことができるようにします。また、プロジェクト活動や行事では、自分の役割に責任をもって活動できるようにします。

③高学年としての自覚をもち、集団としての高め合いができるようにしていきます。

高学年として、6年生と協力をして、学校を引っ張っていく経験を積めるようにします。行事だけでなく、委員会活動やたてわり活動、総合の学習などを通して、自分たちが行動する姿が学校全体や下級生にいい影響を与えていることに気付くことができるようにします。その気づきによって、互いに高め合える集団づくりをしていきます。

104の原石☆

最高学年として、小学校生活最後の一年だから・・・目標に向かって「何事も挑戦する！」という思い。そして、リーダーとして自覚をもって「みんなのために活動する」大切さやよさを味わえるようにしていきます。そして104人みんなで協力し、洋一小を一つにまとめていくというその思いが込められています。

知

好奇心をもちながら、主体的に考え、学び続ける子を育てます。

徳

自分と周りの人を大切に、思いやりの心をもった子を育てます。

体

自分の健康に関心をもち、心身ともにたくましく生きる子を育てます。

公

地域に目を向け、周りの人と協力して行動する子を育てます。

開

違いを認め、誰とでも分かり合おうとし、共に生きていく子を育てます。

【6年として重点をおきたい教育方針】

① 目標に向かって挑戦し、主体的に解決していきます。

日常の授業や行事の目的を共有し、それぞれが自分の目標や課題を意識して取り組むことができるように指導していきます。見通しをもって取り組むことができるよう、目標・課題を明確にし、計画的に活動できるようにしたり、目標達成のためや仕事をやり遂げるためにはどのような方法や行動パターンがあるかを考え、想像したりします。そうすることで、指示を待つのではなく、自分達で判断・行動し、課題を解決できる力を養っていきます。

② 一人ひとりが自分や友達の役割を理解し、責任をもって取り組めるようにしていきます。

行事やさまざまな活動の中で、一人ひとりが役割をもち、責任をもって最後まで活動できるようにします。それぞれの得意なことや一人ひとりの力を発揮していくことで、104人の学年集団として成長できることを感じながら生活できるように指導します。一人ひとりの頑張りを認め合える時間をつくることで、自分のよさや友達のよさにも気付くことができるようにします。

③ 最高学年としての自覚をもち、集団で高め合えるようにしていきます。

最高学年として、自分達のことだけでなく、様々な学年や地域・保護者など、周りの人達と関わる場面を設定し、いろいろな相手への意識を高め、「みんなのために活動する」大切さやよさを味わえるようにしていきます。行事だけでなく、委員会活動やたてわり活動で日常的に活動していくことで、自分たちの行動が学校全体や下級生によい影響を与えていることに気付くことができるようにします。